

# 最強の六十才

島産業株式会社

代表取締役 島 憲吾

私は昨年末六十才になりました。誕生日までの半年間くらいは暗い憂鬱な気持ちで、「私もとうとう還暦か!」

リサイクルプラント



と人生がお終いであるかのように考え、感じていました。ところが当日、起床してすぐ不思議に「最強の六十だ。」と思いました。弊社は全国官公庁向けのゴミ処理施設（不燃性ゴ

ミ・粗大ゴミ・リサイクル工場）の計画、設計、製造、現地据付、試運転までを一括して請負うエンジニアリング会社です。地元では特にPRもしていないので会社名は知っていても内容を知る人は多くありません。この業が本業で、実績・品質・コストは口幅つたい言い方ですが、全国ではトップクラスを走っていると思います。

今まで一物件の積算（見積）は二週間から、大きい物だと二ヶ月近く時間を要していましたが、業界に先駆けて自動積算システムを自社開発し、今では十分の一の時間で対応出来る様になりました。

また、コストの面では二十年前から海外へ出ていき、中国での製造比率を高めています。品質は昔と違い随分良くなりましたが？（日本では品質を上げるとコストが下がると言いますが彼の国は反対では!）この点我々は中小企業の悲哀を感じる事が有ります。私は未だにプチ反中派です。上海に五年前、機械設計事務所を独资現地法人設立し、弊社の設計を外注、現地製造管理も任せ

ております。因みに日本国内に比し、少しではありませんがコストダウンに寄与しています。

プラントの建設、メンテナンス、そしてプラントの運転管理の委託を請け負う事が私達の業務ですが、燃えるごみ・燃えないごみの清掃工場を見るにつけ問題は多々有ります。皆様も立派な清掃工場を建設するのに多額のお金が必要とおわかりでしょうが、実は官公庁に於けるごみの輸送費はごみ処理費の七〇%以上の費用が掛かります。ごみも下流（工場）でなく上流（家庭）で減じる事により経済的損失、社会システムの改善がなされます。

「家庭でごみを減容する」これが我々の新しいテーマとなり、七年前から新たな楽しみと苦労が始まりました。ごみの減容化は輸送の簡素化にもなり、同時にCO<sub>2</sub>を削減する事も出来ます。基礎研究を始めた頃、経済産業省の地球環境産業技術研究機構（RITE）のCO<sub>2</sub>削減の技術募集に応募し、運よく二年目（一年目は失格）に

採択され、全国で四社の内に入りました。高額な補助金も出して頂き、自信の商品を開発しましたが、モニターングして頂いた結果はNG。二号・三号機と続きました。機械屋の性というか、お客様の目線から外れた、メカギんぎんの物でした。



スイカを乾燥させ、94%の減量！

モニター様のアンケート用紙を超拡大して開発室の壁に貼り、悪い所を一つずつ修正して出来上がった商品が本年二月より発売を開始したPARIS PARIS CUBE(家庭用

生ごみ処理機パリパリキューブ)です。

まだまだお客様にフェースは届いておりませんが、現在、数社の家電量販店で販売しております。徐々に販路も増えてきており、年内には皆様にも少し知っていただけと思っています。

よって私はこれからまだまだ中小企業の親父として最強でいなければならないのです。

製品のウェブサイト <http://parisparis.jp/>

観一・22回(昭和46年卒)

〒七六八―〇〇二四

観音寺市中田井町一番地

## 島産業株式会社

電話 〇八七五―六三一四―一一

FAX 〇八七五―六三一四―〇九一

HP <http://www.shimasangyo.co.jp/>



温風乾燥型 家庭用生ごみ処理機 パリパリキューブ